

◆◆◆◆◆主な内容◆◆◆◆◆

- 震災ボランティア…1面
 - 知ってる?!学友会…2面
- 創価の輝き

◆◆◆◆◆

2011年(平成23年)

7月15日発行

第13号

創 大 学 友 新 聞

-THE SODAI GAKUYU SHIMBUN-

【発行所】

創価大学学友会

東京都八王子市丹木町1-236

郵便番号 192-0003

電話 (042)691-0806

(C)創価大学学友会 2011年

http://gakuyukai.soka.ac.jp/

mail:gakuyu_koho_2010@yahoo.co.jp/

出来ることは、そこにある！

—東日本大震災に対するクラブの行動—

創大生から希望の波を起こせ！

被災地に注ぐ勇気の力 ラグビー部

4月27日・28日の2日間、ラグビー部は東日本大震災被災地支援を行う「創大ボランティア」に参加した。

震災後、計画停電に伴い、大学でのクラブ活動が禁止された。被災地のことを思い、何か出来ることはないかと考えていたところ、「創大ボランティア」の募集を知り、同部として応募した。

宮城県石巻市に着くと早速

同部は被害の大きかった民家に向かった。「道中見た景色はテレビで見たような悲惨な光景が広がっており、驚愕した」と副部長の谷口信孝君。到着した時、民家は地震による津波で一階が浸水していた。ラグビーで鍛えた体を活かし、床をはがしてヘドロを除去する作業に励んだ。その作業は6時間にも及んだ。2日か被災地の方との交流もあり、「創価大学学生歌」を「創大ボランティア」の皆で歌い、被災地の方々に励ました。「震災の被害はひどかった。しかし、現地の人は本当に明るく優しかった。逆に自分たちが励まされた」「二人一人の力は小さいが、皆が結集することで大きな力になる。創大生から何かできたらいい」と谷口君は語った。

希望の歌を被災地に ヴォーカルグループ

被災地に希望の歌が届けられた。届けたのは創価大学ヴォーカルグループ(以下VG)。

被災地である青森、岩手、宮城、福島、茨城の5県に送ったCDは昨年38期のメンバーが作詞・作曲した「君は勝つために生まれてきた」。震災直後、VGのメンバーから自発的に「CDを送りたい」との声が上がった。部長の佐藤勇樹君を含め、部員は「今でき



ることは何か」ということを考えた時に、「Sing for happiness」というVGの根本精神に立ち返り、「被災地の方たちに自分たちの声で希望を届けたい」と感じたという。その後、CDを聞いた被災地の方から、「元気がになりました」との声が。東北に住んでいるVGのOBも後輩がCDを通して希望を届けてくれたことに誇りを感じているという。

また、多くの人にこの歌を届けたいと、IBC岩手放送(IBC山田災害臨時ラジオ)にもCDを送り、6月8日に放送された。他のラジオ局にもCDを送っており、今後ラジオの電波に乗る予定だ。被災地の様子を流すテレビのBGMにも視聴者のリクエストにより流され、「創価大学ヴォーカルグループ」と紹介もして頂いた。被災地での反響の広がりや佐藤君は「うれしくて感じた」と。VGは2度目となる東京デイズニラウンド公演の出演権を7月1日に勝ち取ったばかり。これからもVGの飛躍は続く。

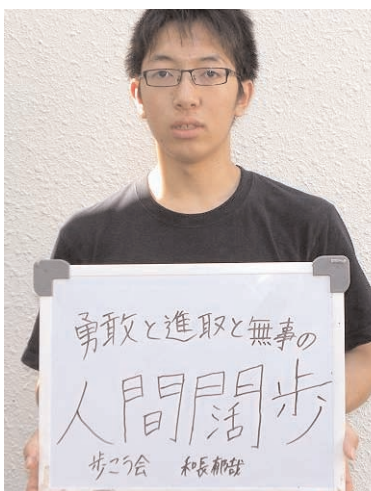
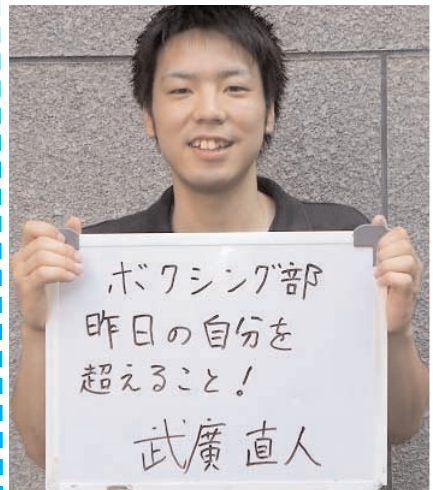
感謝の想いを 手ぬぐいにして 剣道部

剣道部は地震の被害を受けた宮城県の方に普段の練習で使っている同部オリジナルの手ぬぐい10枚を送った。

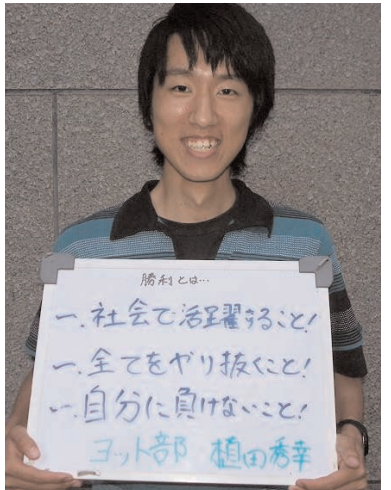
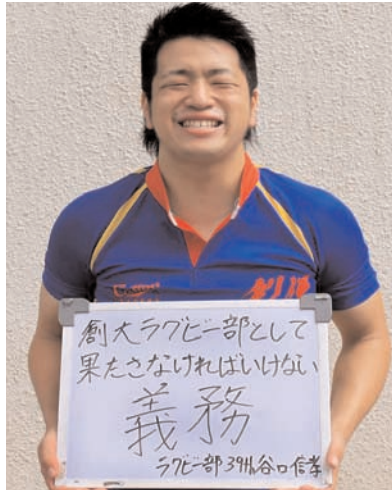
同部は去年の夏合宿を宮城県松島町で行った。合宿では地元の剣道をしている小中学生たちと交流を行い、その際に合宿をサポートしてくださった現地の方々には大変お世話になったという。

地震後、本学のホームページに「剣道部さんが使っていた手ぬぐいがほしい」との書き込みがあった。早速、同部は「負けるな 東北」などの激励の言葉を書いた10枚の手ぬぐいを、日頃お世話になっている宮城県在住の方のもとへ届けた。

「感謝の想いを伝えたい。できることは剣道で勝利をお伝えすることしか思い浮かばなかった。そこにこの話をいただいた。何でもさせていだきたいという思いだった。私たちも頑張るから、一緒に頑張らしましょう」と、部長の内藤恵介君は語った。彼は7月3日に大阪で行われた全国大会の個人戦に出場。全国の舞台上で堂々と戦ってくれた。



☆☆あなたにこそ勝利とは?☆☆
By 体育会



知ってる?!学友会

あなたは『創価大学学友会』という組織のことをどれくらい知っているだろうか。

一般的に、『学友会』は、部活動を援助する事を目的とする組織のことをいう。創価大学学友会とは、学友会指針の下107という団体のサポートを目的として、活動している。今回は創価大学学友会がよくわかってもらいたい。『学友会』をよく知ってもらいたい。『学友会』の主な業務や体制などを紹介しよう。

創価大学学友会とは、学友会員であるクラブ員とクラブに所属している4年生である学友会役員、また特別会員である顧問からなり、体育会、文芸局、学術局の3局で構成されている。各局の委員長・副委員長は計12人からなる組織が運営委員会であり、学友会を中心として運営を行っている。運営委員会以外の役員は次のような担当役職を持っている。

各局の会計管理、全団体の会計のサポートをする会計担当。部の継続や昇格・降格の審議を進める部籍担当。学友会本部の備品管理などの事務仕事のエキスパート事務局。サークルとの連携や各団体の渉外を繋ぐサークル・渉外担当。団体役員会やその他会合を切り盛りする団役会担当。美化・図書・S4クラブ団体の9時撤退を促す運動・進路

を推進する後継委員会。新聞クラブ冊子SOSの作成や学友会ホームページの管理などを行う広報担当。海外等からの来賓を歓迎する際のクラブのサポートを行う来学者担当。学術局団体のスピーチコンテストとシンポジウムの運営を統括するスピコン・シンポ担当。体育会・文芸局のクラブ団体が活動場所・時間をスムーズに決められるように仲裁をする施設担当。これら10の役職と運営委員会で学友会は運営されている。各役職とともに、局員はいくつかのクラブ団体を担当し、クラブの活動をサポートしている。

言うなれば、創価大学学友会は、創価大学のクラブ活動を全面的にサポートし、創大建設をクラブ団体から盛り上げていくための組織である。次に、学友会の根本精神で

学友会指針

創大建設 何のため
勝利と平和と
皆の幸福のため

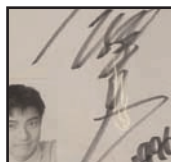
ある学友会指針を紹介する。これは第31代の学友会役員がその年の年間本部テーマを「創大建設 何のため 僕らは皆の幸福リーダー」とし、創立者にお届け、ご報告したことが始まりであった。このテーマに対し、創立者が加筆・修正を行ってくださり、現在の指針となった。第33代まではこの指針を本部テーマとして引き継ぎ、第34代の際に、学友会総会において、この本部テーマを『学友会指針』とすることが全クラブ員の賛成の下、決定された。

この指針には、創立者の学友会に対する想いが深くこめられている。
・創大を世界に宣揚するため「勝利」を目指す体育会
・創価哲学を持って、世界の「平和」を創造しゆく学術局
・文化を通し、一人ひとりに「幸福」を贈りゆく文芸局
体育会・学術局・文芸局がそれぞれの場所で全力で戦い、創大建設を一丸となつてやっ

ていく。これが学友会であり、永遠に変わらぬ学友会の使命である。

学友会トリビア

学友会本部の奥には、彦摩呂の若かりし頃の写真とともに、サイン色紙が飾ってある。



☆チアリーディング パンサーズ 全国出場!

6月4日、第13回関東チアリーディング選手権大会で勝ち進み、2011年パンサーズチアリーディング日本選手権大会フリーデーターナメントへの出場が決定した。全国大会は8月26日、国立代々木体育館(渋谷区)にて行われる。



関東大会当日のパンサーズ

☆準硬式野球部 全国大会出場!

6月18日、八王子市民球場(八王子市)にて行われた全日本出場予選会に茨城大学に2-0で勝利した。これにより第63回全日本大学準硬式野球選手権大会に9年ぶりの出場を勝ち取った。大会は8月16日~21日、北海道の各所で25チームで争われる。



茨城大学に勝ち、全国出場決定した準硬式野球部

☆柔道部・女子の部 全国大会優勝!

6月25日、日本武道館(千代田区)で行われた全日本学生柔道大会・3人制の部で出場。決勝戦で東京学芸大学に1-0で勝利し、3年ぶりの優勝となった。



柔道部の練習風景

☆男子の部・ベスト32 翌26日の男子の部では、ベスト32と大健闘した。

ル(八王子市)において第55回東日本理工科系大学選手権水泳競技大会が行われ、部長の橋俊之君が第3位に輝いた。

☆剣道部・内藤君 全国大会出場! 7月3日、大阪府立体育館(大阪市)にて第59回全日本学生剣道選手権大会が行われ、個人戦で部長の内藤恵介君が出場した。惜しくも2回戦敗退となったが、大健闘の全国大会となった。



優勝を飾ったクルーダンス部

☆クルーダンス部 全国大会優勝! 7月3日、クレオ大阪南(大阪市)にてクレオダンスコンプレックス2011が行われ、ク

ル(八王子市)において第55回東日本理工科系大学選手権水泳競技大会が行われ、部長の橋俊之君が第3位に輝いた。戦となったが、見事、優勝を勝ち取った。

☆フルコンタクト 空手道部丈夫会 日本一!

6月26日、後楽園ホール(文京区)にて、第74回全日本学生キックボクシング選手権大会が行われ、丈夫会は、3年ぶり3回目となる日本一に輝いた。



勝利を決めた瞬間の二渡光雄君

SPWD開催!

7月3日、創価大学文系A棟とロワールにて、創価大学学生国際センターが主催するシンポジウムである第6回 Student Peace Worker Dayが開催された(実行委員長水谷将紀君)。

他大学からの2団体を含む学術系の8団体が参加し、平和・人権・児童労働・ソーシャルビジネス等に関するプレゼンテーションを披露。また、「子どもとしての幸せは何か?」等のディスカッションを一般の参加者とともに、多くの学生が平和について深く考える1日となった。

青春の光

梅雨明けも控え、夏本番を迎えようとしている。創大生にとっては、期末テストこそ最後の難関であるが、

終わればいよいよ夏休みだ。各クラブの大会・合宿等では、無事故を勝ち取っていただきたい。▼本号では、「勝利」をテーマに体育会から8人のメッセージ写真を取らせていただいた。「勝利」一言ではあるが、多くのクラブ員さんの想いがこもる言葉だ。▼誰もが人生の中で一度は「勝負」に挑み、「勝者」と「敗者」に分かれた経験を持っているはずだ。果たして、その分かれ目にあるのは、一体何であるか。▼例えば、じゃんけんでは、「二瞬の運」というようなものが働きかけるかもしれない。「勝負運」も勝利の要因ではあるが、大切な試合等の勝負時において、「運」だけで勝つことは出来ないだろう。▼創立者は第18回卒業式のスピーチにて「一切の勝負は勇気で決まる。ゆえに勇気の人でなければならぬ」と述べている。また「一日一日、弱い自分を乗り越えながら、『自分は悔いなく戦い切った』と言える、青春の『勝利の劇』『人間革命の劇』を明らかに勝ち取っていただきたい」と。▼いよいよスポーツシーズン到来。一歩も退くことなく、困難も勇気で乗り越えていこう。今年もまたクラブ団体の皆さんが大いに活躍してくれることを心より祈る。(八)